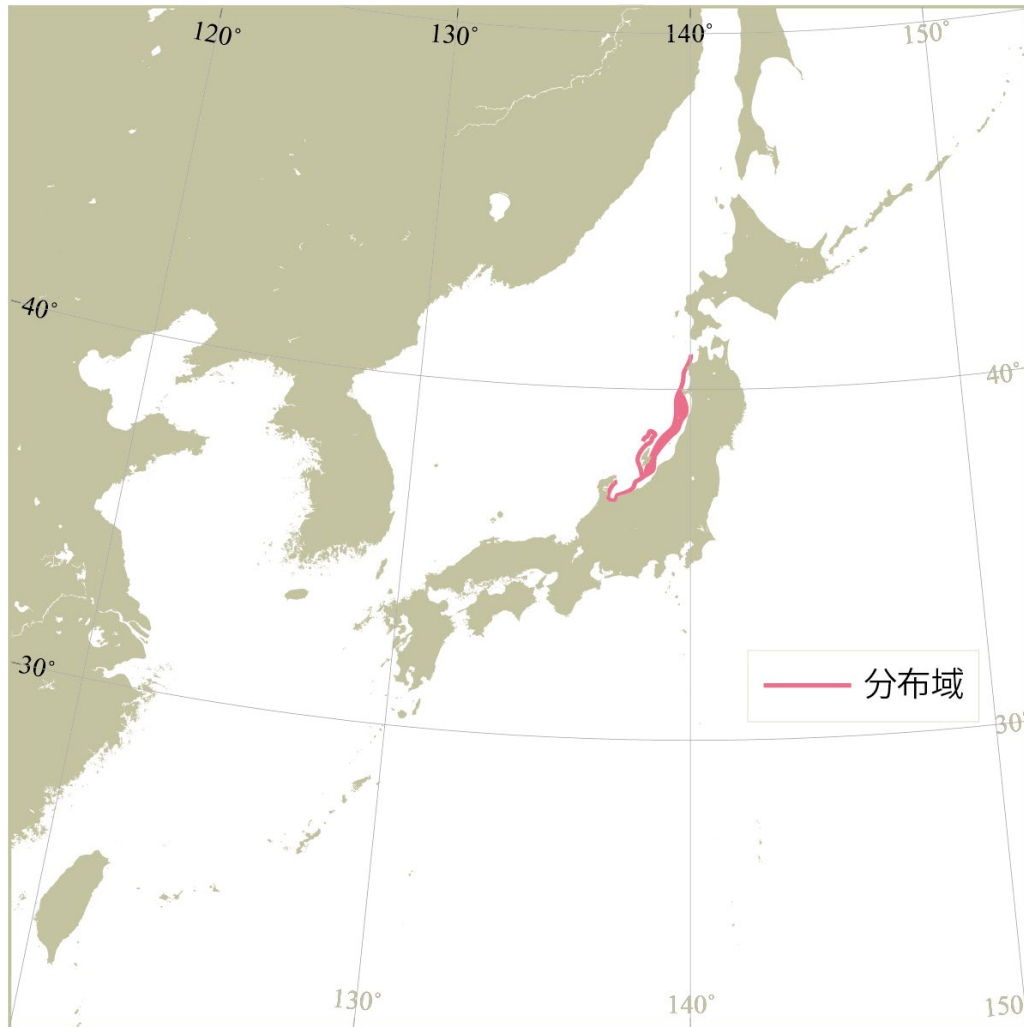




ハタハタ 日本海北部系群 令和3年度資源評価結果

生物学的特性

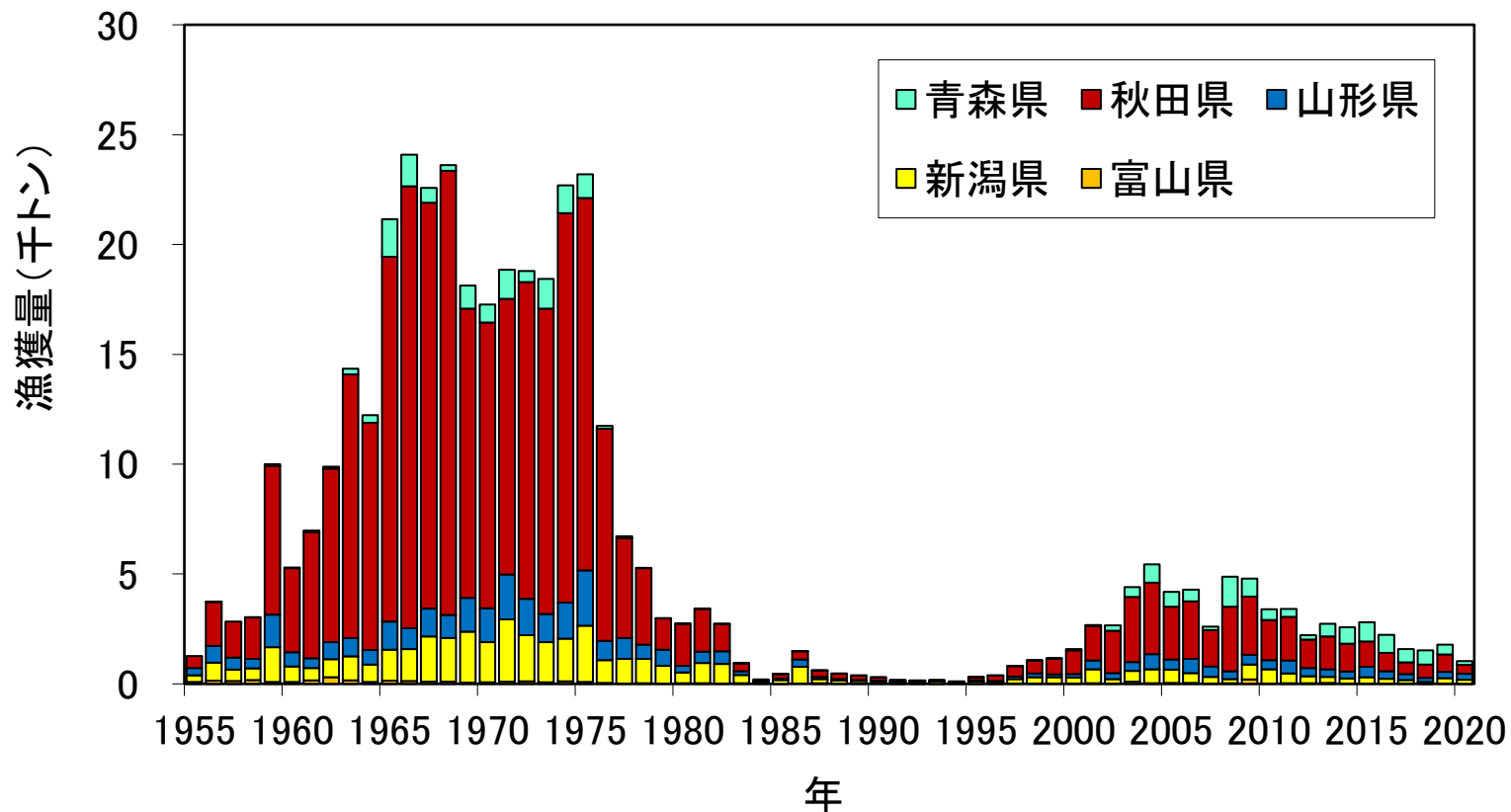


生物学的特性

- 寿命:5歳
- 成熟開始年齢:
雄1歳(割合は不明)
雌2歳(100%)
- 産卵期・産卵場:
12月上・中旬
主に秋田県沿岸の藻場
- 食性:
端脚類、橈脚類、オキアミ類、
イカ類、魚類
- 捕食者:
大型魚類(マダラ等)

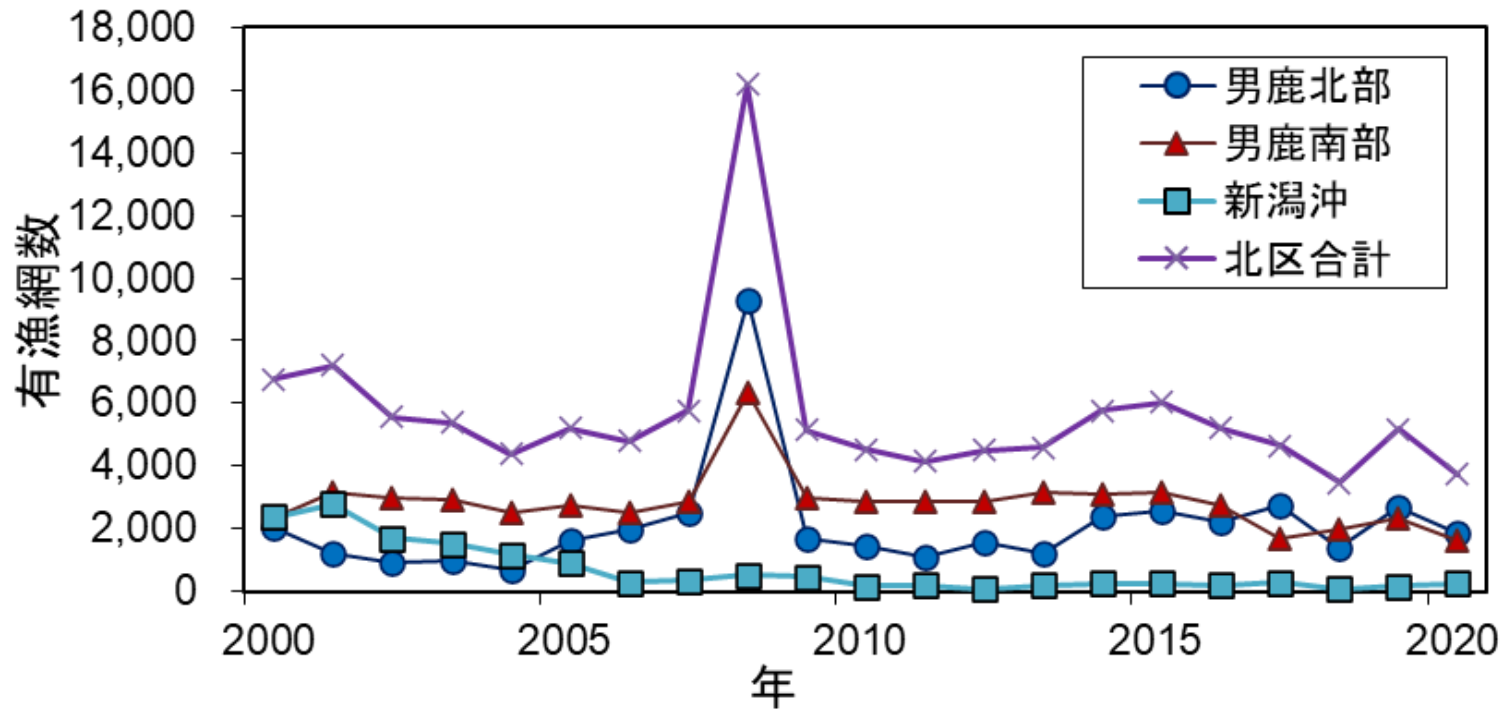
- 主漁場は沖合底びき網漁業（沖底）：青森県～富山県、定置網漁業（定置）：青森県～秋田県

漁業の動向①



- 主漁法は沖底、定置
- 漁獲主体は秋田県・青森県、2020年は両県で全体の6割
- 近年の漁獲量は減少傾向、2020年の漁獲量:1,028トン

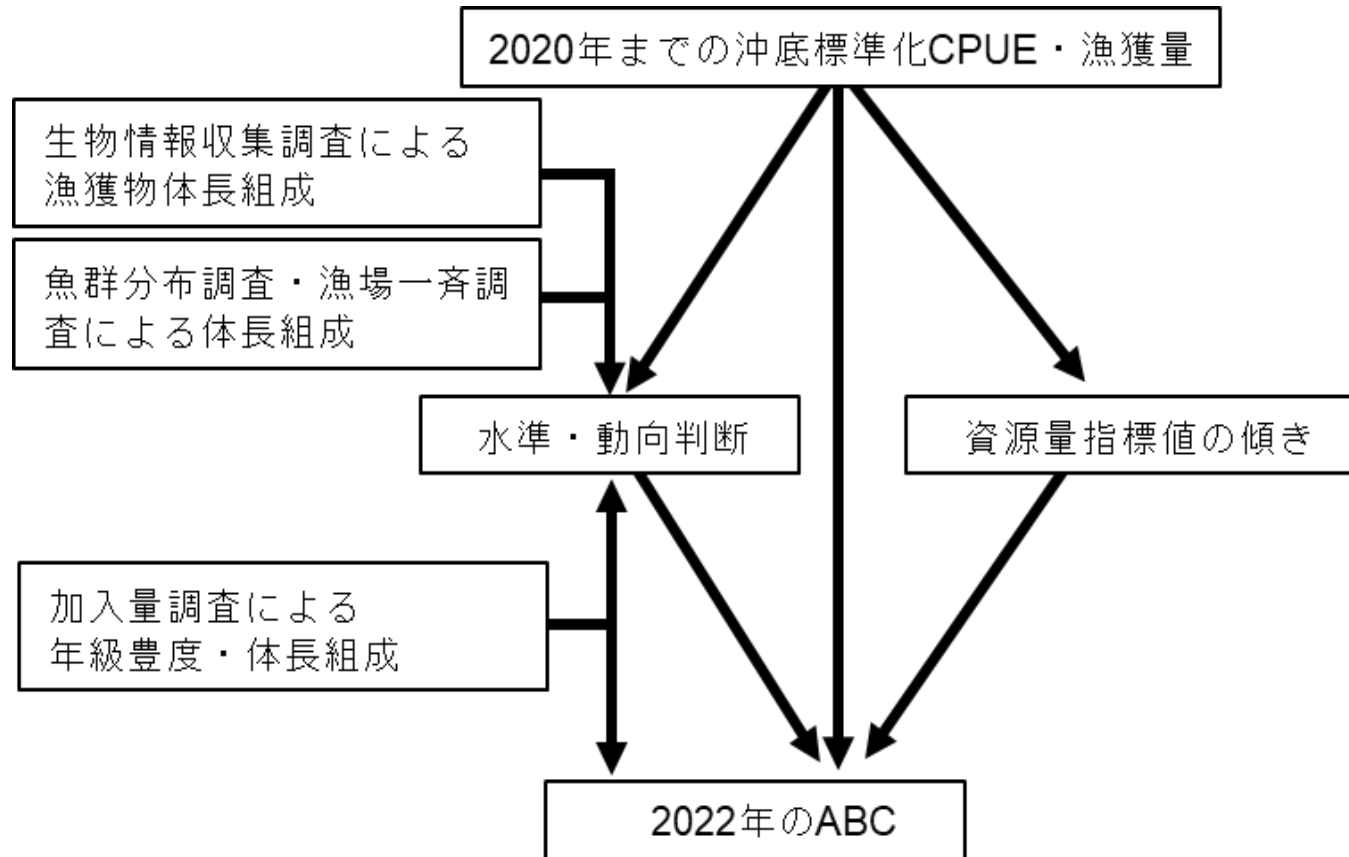
漁業の動向②



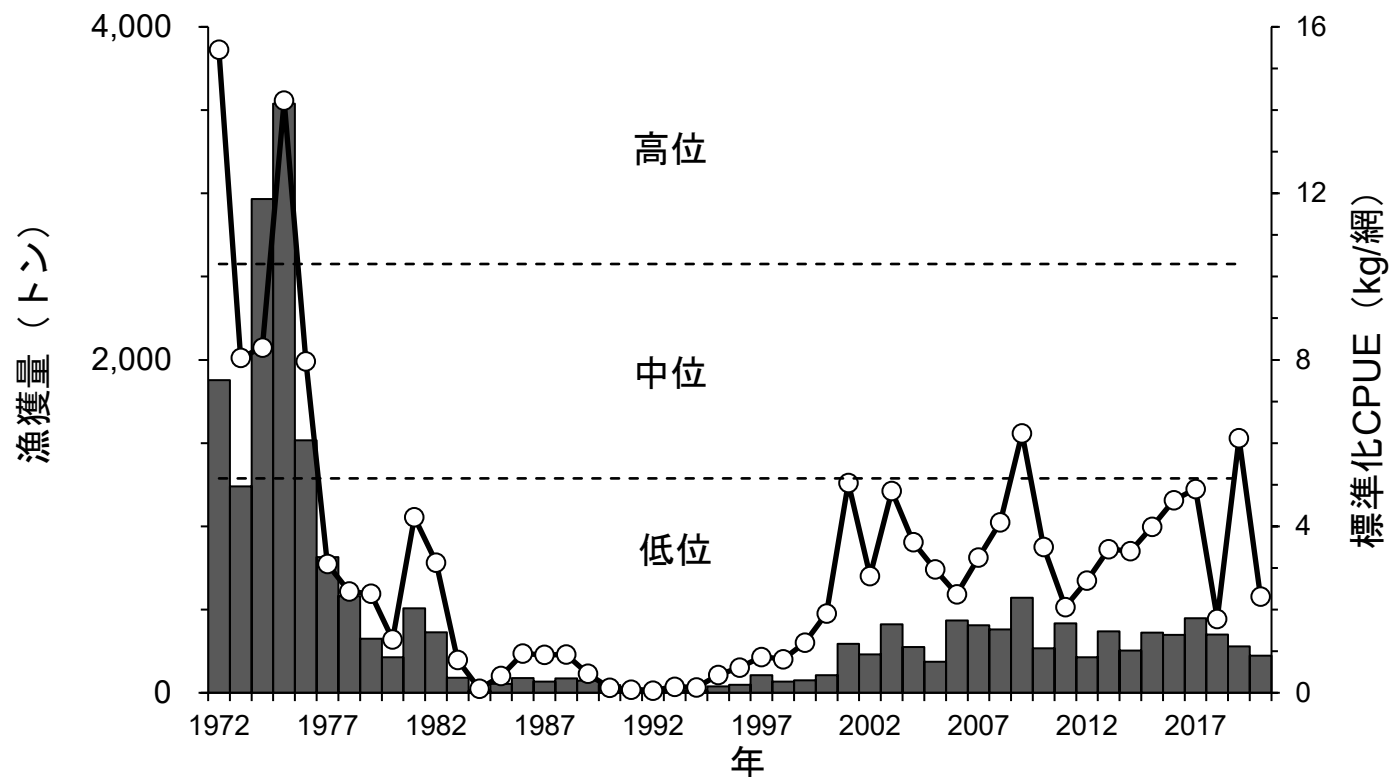
有漁網数：ハタハタの漁獲があった日・船の曳網数

- 有漁網数は、男鹿北部・男鹿南部・新潟沖ともに、長期的には減少傾向

資源評価の流れ



資源の動向



※水準区分 低位／中位：標準化CPUE 5.2 中位／高位：標準化CPUE 10.3
(沖合底びき網1そうびきの標準化CPUEの値で水準判断)

- 資源水準：2020年の標準化CPUEは2.3であり「低位」
- 資源動向：直近5年間の標準化CPUEの推移から「横ばい」

※標準化CPUE：1網あたりの漁獲量 (CPUE) を操業月や小海区などを説明変数とする一般化線形モデルにより標準化したCPUE

資源評価のまとめ

- ハタハタ日本海北部系群の資源水準は低位、動向は横ばい
- 沖底の標準化CPUEに基づいて資源状態を判断

2022年漁期ABC

管理基準	Target/Limit	2022年ABC (百トン)	漁獲割合 (%)	F値 (現状のF値からの増 減%)
0.7 Cave3-yr 1.08	Target	9	—	—
	Limit	11	—	—

- ・ ABC算定規則の2-1) により、 $ABC_{limit} = \delta 1 \cdot C_t \cdot \gamma 1$ で計算
- ・ $\delta 1$: 0.7 (低位水準での推奨値)
- ・ Cave3-yr: 過去3年間 (2018~2020年) の平均漁獲量
- ・ $\gamma 1$: 1.08 (標準化CPUEの増減に基づく調整係数)